

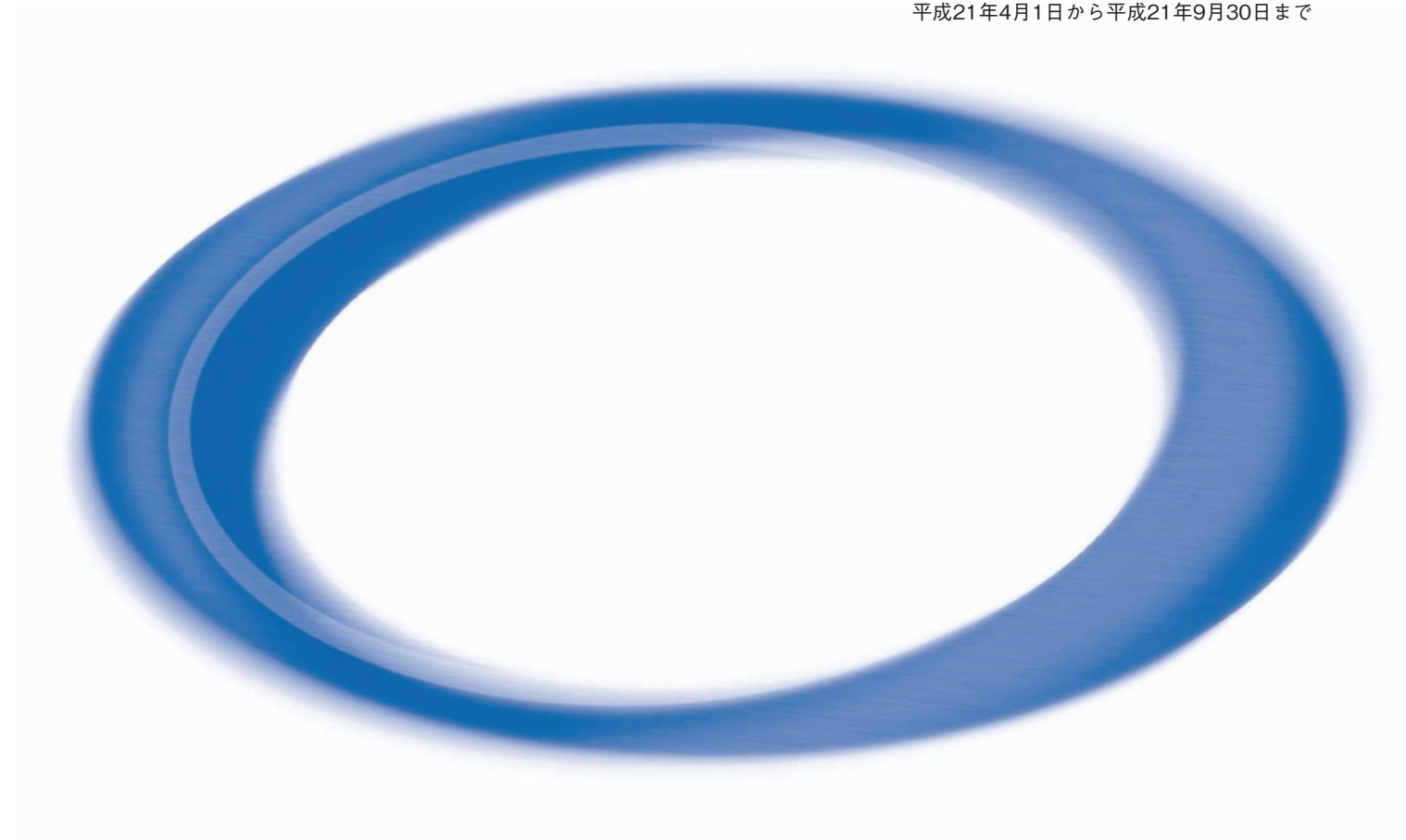
第48期 中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



<http://www.gmb.jp>

〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL.0745(44)1911(代) FAX.0745(44)1930



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第48期上半期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の事業の概況などにつきまして、ここにご報告いたします。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月



代表取締役会長
松岡 信夫



代表取締役社長
南北 一雄

- 事業の概況……………1
- 財務ハイライト（連結）……2
- 会社概要……………3
- 連結財務諸表（要旨）……4
- 事業内容……………6
- GMBネットワーク……………8

上半期の業績について

当期の上半期における経済状況は、昨年秋からの金融危機がようやく峠を越えたといわれながら、世界的な財政出動に支えられた景気の底入れから、本格的な自律回復に対しては不安が残る状況が続いております。また、自動車業界においても、各国の景気刺激策の効果により新車需要が回復に向っております。

このような環境のなか、当社グループは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場において既存顧客との関係を強化しつつ、回復する需要のなかで、米国において大手チェーンストアとの新規取引が成約するなど、販路拡大に努めましたが、本格的な販売回復には至りませんでした。また、中国子会社1社の清算を決議するなど、生産拠点の再編を含めたグループ各拠点の生産性向上やコスト削減に努めました。

さらに、円高ドル安に進行した為替相場や、韓国ウォンの下落など在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替変動による影響も加えた結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が11,733百万円（前年同四半期比41.2%減）となり、営業損失は219百万円（前年同四半期営業利益1,487百万円）、経常損失は237百万円（同経常利益1,544百万円）、中間純損失は92百万円（同純利益732百万円）となりました。

通期の見通し

当期の下半期は、回復する需要に対応して、業績面での改善を見込んでおります。

新車用部品市場においては、各国の景気刺激策に支えられた新車需要の回復や新興国での順調な需要

の拡大により、販売は確実に上向きつつあります。特に韓国の子会社GMB KOREA CORP.においては、ウォン安を追い風に世界的に販売を伸ばしている韓国車の好調を受け、販売面では昨年秋の金融危機前の水準に戻りつつあります。

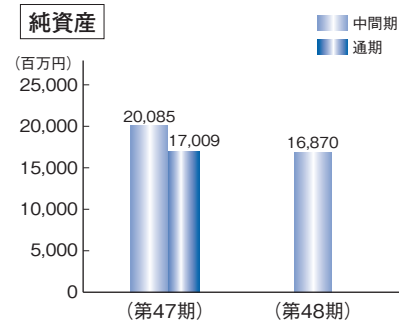
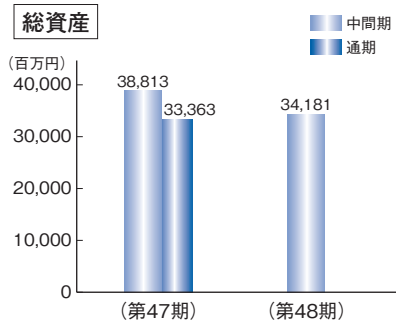
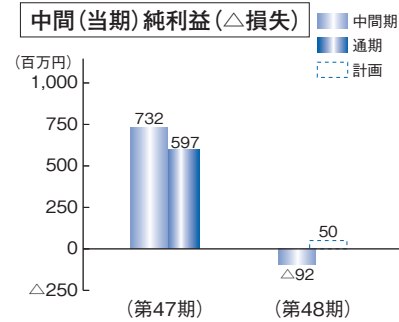
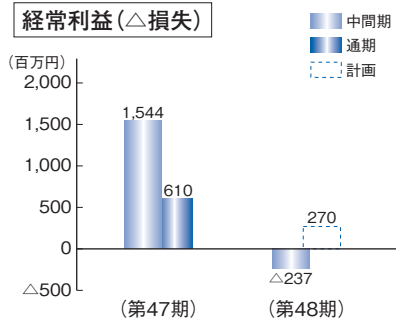
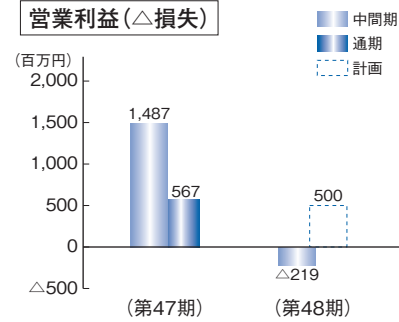
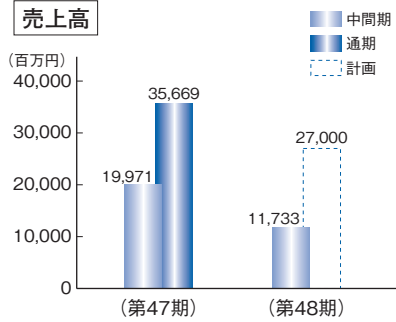
また、補修用部品市場においても、米国の大口の新規受注と海外生産拠点の再編によって発生した一時的な生産・調達面での混乱も解消に向かうことで、採算も改善するものと見込んでおります。

以上から、通期の連結業績は、売上高27,000百万円（前年同期比24.3%減）、営業利益500百万円（同12.0%減）、経常利益270百万円（同55.8%減）、当期純利益50百万円（同91.6%減）と黒字化することを見込んでおります。

株主還元に対する方針について

利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。上半期は計画した利益を達成することができませんでしたが、予定どおり中間配当金15円を実施いたしました。また、通期では売上高、利益とも改善する計画であり、当期の配当金につきましては、年間30円とさせていただき予定であります。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、海外拠点の拡充、コスト競争力強化、市場ニーズに応える技術・製品開発体制の強化など、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

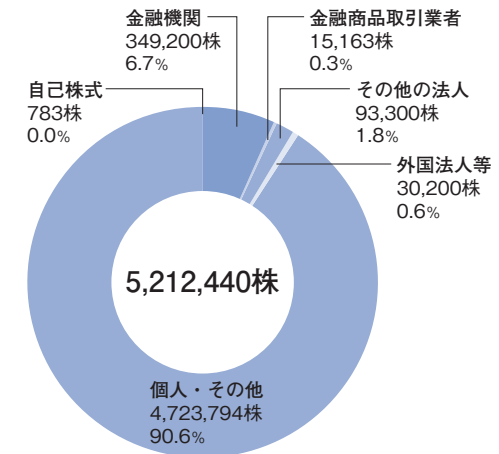


株式の状況

- 発行可能株式総数 19,000,000株
- 発行済株式の総数 5,212,440株
- 株主数 2,184名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
松岡信夫	1,096,775 (株)	21.0 (%)
松岡登志夫	700,350	13.4
松岡光子	416,375	8.0
GMB従業員持株会	329,170	6.3
松岡百合子	308,625	5.9
野村信託銀行株式会社(投信口)	130,300	2.5
松岡弘枝	122,500	2.4
飯野達人	103,400	2.0
金本順子	98,750	1.9
松岡祐吉	68,125	1.3

所有者別株式分布状況



会社概要

- 商号 GMB株式会社
- 会社設立 昭和37年5月
- 資本金 838,598,000円
- 代表者 代表取締役会長 松岡信夫
代表取締役社長 南北一雄
- 従業員数 連結 2,200名 単体 423名
- 事業所 本社・奈良工場
〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL. (0745) 44-1911 (代) FAX. (0745) 44-1930
Web Site <http://www.gmb.jp>
八尾工場
〒581-0814 大阪府八尾市楠根町2丁目58番地
TEL. (072) 997-1521 (代) FAX. (072) 997-2481
- グループ会社 GMB KOREA CORP. (韓国 慶尚南道昌原市)
GMB NORTH AMERICA INC. (アメリカ ニュージャージー州)
山東吉明美工業有限公司 (中国 山東省肥城市)
青島吉明美機械制造有限公司 (中国 山東省萊西市)
THAI GMB INDUSTRY CO., LTD. (タイ プラチンプリ県)
青島吉明美汽车配件有限公司 (中国 山東省即墨市)
THAI KYOWA GMB CO., LTD. (タイ プラチンプリ県)
- 役員 代表取締役会長 松岡信夫
代表取締役社長 南北一雄
取締役副社長 水谷晃
専務取締役 阪口有一
常務取締役 森勝
常務取締役 金本現一
常務取締役 小菅清喜
常勤監査役 安藤政喜
社外監査役 平野邦男
社外監査役 浜本章

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前中間期 平成20年9月30日現在	当中間期 平成21年9月30日現在	前期 平成21年3月31日現在
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	3,865	3,724	4,602
受取手形及び売掛金	6,087	4,896	4,140
たな卸資産	8,046	6,459	6,426
未収還付法人税等	—	3	120
繰延税金資産	227	300	105
その他	959	623	618
貸倒引当金	△86	△65	△48
流動資産合計	19,100	15,943	15,966
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物	4,022	3,612	3,296
機械装置及び運搬具	7,348	6,800	6,418
土地	5,891	5,333	5,272
建設仮勘定	864	473	975
その他	499	371	382
有形固定資産合計	18,626	16,591	16,346
無形固定資産			
のれん	68	41	54
その他	253	230	197
無形固定資産合計	322	271	252
投資その他の資産			
投資有価証券	116	720	92
繰延税金資産	267	372	354
その他	389	313	373
貸倒引当金	△10	△30	△21
投資その他の資産合計	763	1,375	799
固定資産合計	19,713	18,238	17,397
資産合計	38,813	34,181	33,363

科目	前中間期 平成20年9月30日現在	当中間期 平成21年9月30日現在	前期 平成21年3月31日現在
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	4,191	3,448	2,686
短期借入金	2,757	3,496	4,077
1年以内返済予定の長期借入金	2,117	2,858	2,309
1年以内償還予定の社債	600	—	—
未払法人税等	577	15	60
繰延税金負債	742	174	169
賞与引当金	189	143	149
製品保証引当金	244	132	157
その他	1,835	1,338	1,440
流動負債合計	13,256	11,607	11,050
固定負債			
社債	—	300	—
長期借入金	2,893	3,065	3,221
繰延税金負債	25	42	42
退職給付引当金	1,696	1,384	1,233
役員退職慰労引当金	245	231	233
負ののれん	140	111	126
その他	469	568	445
固定負債合計	5,471	5,704	5,303
負債合計	18,728	17,311	16,354
純資産の部			
株主資本			
資本金	838	838	838
資本剰余金	988	988	988
利益剰余金	14,286	13,880	14,059
自己株式	△1	△1	△1
株主資本合計	16,111	15,705	15,884
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	7	△3	△14
為替換算調整勘定	118	△1,489	△1,695
評価・換算差額等合計	126	△1,492	△1,710
少数株主持分	3,846	2,657	2,835
純資産合計	20,085	16,870	17,009
負債・純資産合計	38,813	34,181	33,363

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当中間期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
2 売上高	19,971	11,733	35,669
売上原価	15,874	10,096	30,144
売上総利益	4,097	1,637	5,524
販売費及び一般管理費	2,609	1,856	4,956
営業利益(△損失)	1,487	△219	567
営業外収益	214	131	398
営業外費用	157	149	355
経常利益(△損失)	1,544	△237	610
特別利益	124	3	125
特別損失	38	6	57
税金等調整前中間(当期)純利益(△損失)	1,629	△240	679
法人税等	565	△194	△177
少数株主利益	331	46	259
中間(当期)純利益(△損失)	732	△92	597

POINT-1 投資有価証券の増加

中国生産拠点の再編を主な目的として、子会社山東吉明美工業有限公司の清算を決議したことに伴い、連結対象から除外したことと、タイに新たな持分法適用会社THAI KYOWA GMB CO.,LTD.を設立したことによるものであります。

POINT-2 売上高の減少

昨年秋以降の急激な需要の落ち込みは、新車用・補修用品の両市場ともに、徐々に回復基調にありますが、本格的な回復には至っておりません。また、前期に続き、大規模な韓国子会社の売上高を円換算する為替相場が韓国ウォン安円高となったことも影響しております。

POINT-3 財務活動によるキャッシュ・フロー

収益の落ち込みによる営業キャッシュ・フローの減少を補うべく、社債の発行や長期借入金により長期的な資金調達をしたことによるものであります。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当中間期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,161	715	2,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,691	△1,660	△3,110
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	△309	46	1,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	45	△396
現金及び現金同等物の増減額	△923	△852	298
現金及び現金同等物の期首残高	3,332	3,630	3,332
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△244	—
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,408	2,534	3,630

1

クオリティこそGMBブランドの証です

基本理念

- HIGH QUALITY PRODUCTS
- QUICK DELIVERY
- COMPETITIVE PRICE
- BEST SERVICE

GMBは、4つの基本理念に基づき、製品設計・製造を行っております。
機能・強度・耐久性など、自動車部品に求められる基本的な品質を保証するため、
多年の豊富な経験を踏まえて日々改善・改良に努めています。

主な製造部品

□ ユニバーサルジョイント

GMBのユニバーサルジョイントは、小型・軽量化を実現するとともに、高い強度や優れた耐久性によって、安全、確実な動力伝達を可能としています。

□ ステアリングジョイント

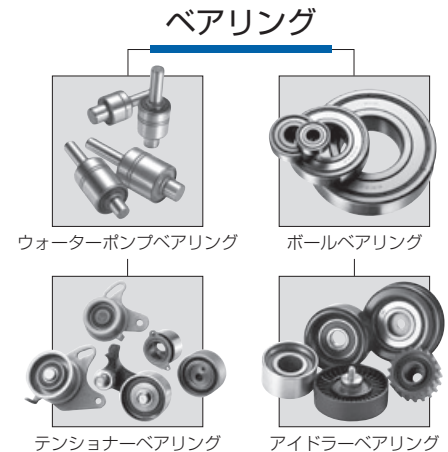
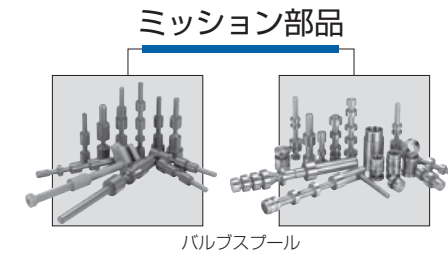
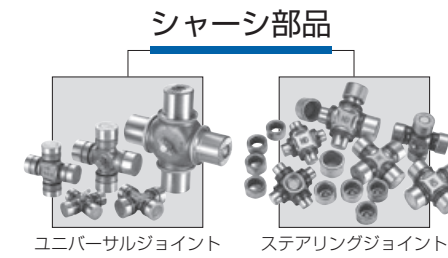
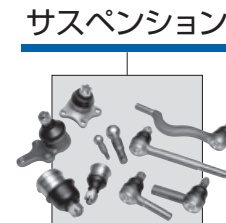
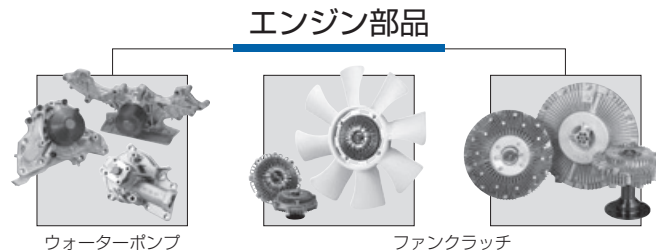
ハンドルの操作性を向上させるために、小型・軽量化が図られています。近年、電動パワーステアリングの普及に伴い、剛性の高い製品が要求されています。

□ ウォーターポンプ

アルミダイカストやプレスインペラーの採用により、究極の軽量化を達成。さらにベアリング・一体化メカニカルシールを社内生産して低トルク構造と、動力損失の少ない高寿命なウォーターポンプを生産しています。

□ サスペンションパーツ

GMBはタイにおいてサスペンションパーツの素材成形から一貫生産しています。



生産工程

GMBは、素材をダイカスト、プレス、切削、研磨などの工程で成形し、その部材を自社で組み立てて製品としています。各工程が、不良品を出さないように厳しく品質管理を続けることで、低コストで、信頼性の高い自動車部品の生産が可能になるのです。



ダイカスト

ウォーターポンプのボディ&ハウジングを成形します。



プレス

複雑形状を後加工なしに鍛造成形のみで仕上げるネットシェイプを追求します。



切削/研磨

NC加工機群によって鋼材を切削、研磨します。



熱処理

加工後の金属組成を調整します。



組み立て

社内で生産した信頼の部材を組み立てます。



検査

徹底した品質管理で、クレーム・ゼロを目指します。

山東吉明美工業有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にウォーターポンプ・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

青島吉明美汽车配件有限公司



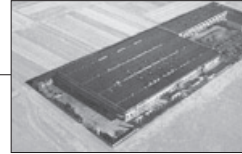
当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にバルブスプー・ベアリングの製造をしております。

青島吉明美机械制造有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にベアリング・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

当社(GMB株式会社)



自動車のエンジン部品であるウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売及び各子会社の製品の販売を主に営んでいるとともに、グループ中核企業として先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に海外補修用市場向けに販売を行っております。

八尾工場



THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.



当社の各製品のうち、主にウォーターポンプ・サスペンションパーツの部品及び製品の製造をしております。また、一部タイ国内販売も手掛けております。

GMB KOREA CORP.
第一工場



第二工場



瑞山工場



自動車部品等の各種ベアリング製品、エンジン部品であるファンクラッチ・ウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるバルブスプー・ユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売を営んでいるとともに、当社同様に先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に韓国国内の自動車完成品メーカー及びその系列会社への販売が中心であります。

GMB NORTH AMERICA INC.
カリフォルニア倉庫



GMB NORTH AMERICA INC.
ニュージャージー本社



当社グループ各社の製品を、米国を中心とした北米各国へ補修用部品として販売する販売会社であります。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所市場第二部
公 告 の 方 法	日本経済新聞に掲載
証 券 コ ー ド	7214

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。